

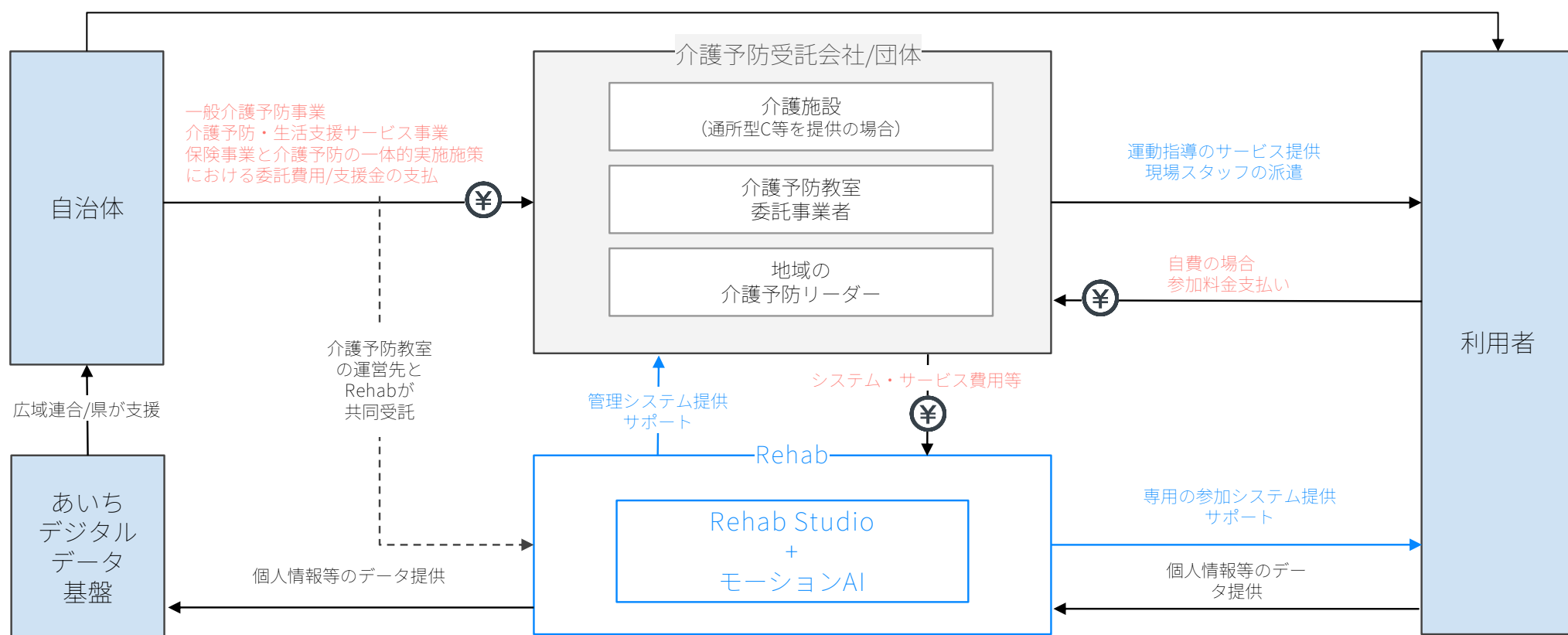
事業名	オンライン・AIを取り入れた新たな介護予防インフラの実現
実施主体	株式会社Rehab for JAPAN
協力団体	あま市、稲沢市、大府市、株式会社ジェネラス、株式会社メディケアコラボ

事業の全体像

オンライン・AIの活用により、介護予防教室の柔軟性・拡張性を上げ幅広い高齢者への専門職の関与の拡大と運営コスト抑制を実現し、新たな介護予防体験を創出

- 自治体の介護予防施策に対して、地場の委託事業者と共同して事業を展開
- システムを活用したオンライン上での介護予防運動のサービス提供
- AIを活用した参加者への身体機能評価及び事業成果の把握

対象者の募集/サービスの認知/啓蒙



事業名

オンライン・AIを取り入れた新たな介護予防インフラの実現

実施主体

株式会社Rehab for JAPAN

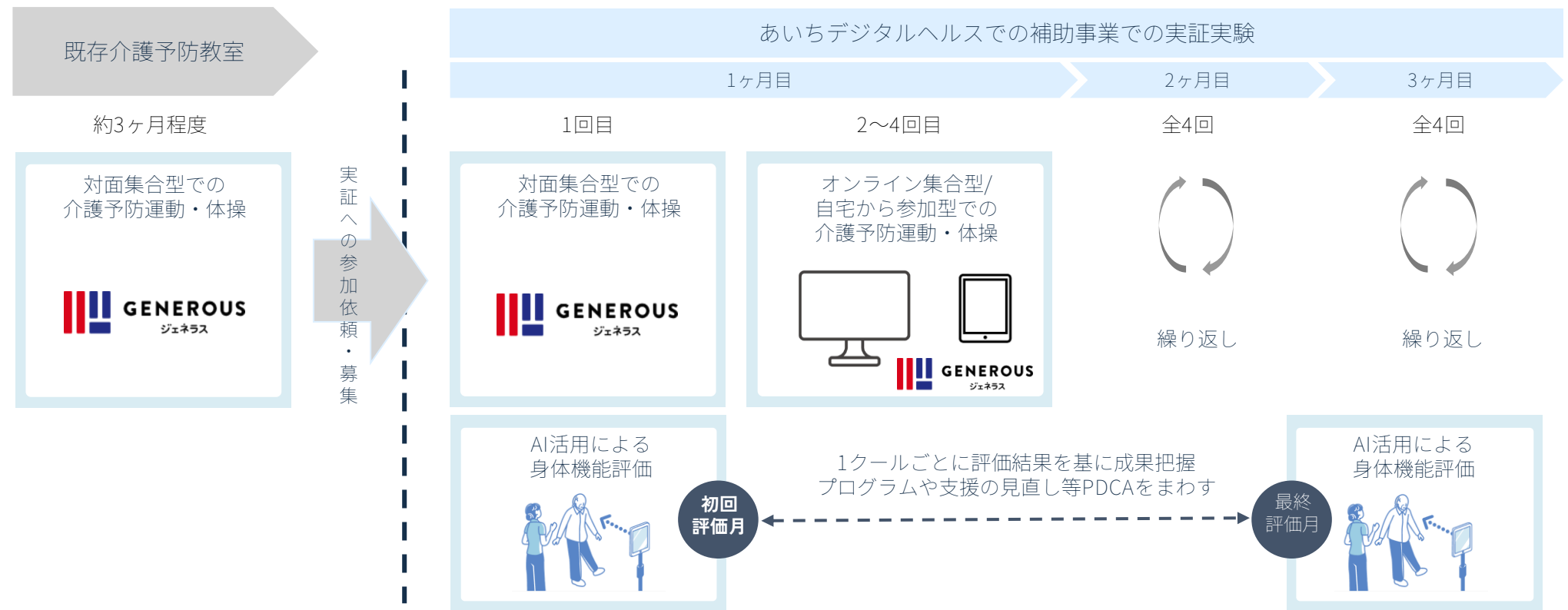
協力団体

あま市、稲沢市、大府市、株式会社ジェネラス、株式会社メディケアコラボ

2025年度の実証内容

「自治体の介護予防の枠組みにおいて、ハイブリット型モデルが受け入れ可能か」を検証テーマに以下を実施

- 既存の介護予防教室の登録者へ参加依頼・募集
- 3ヶ月を期間とし、1回目は対面/リアル場で運動・体操を実施。2～4回目で「*オンライン集合型モデル」「*自宅参加型モデル」で実施
- 本実証の取り組み前と終了後でモーションAIを活用した身体測定を実施
- 参加者の満足度、身体機能変化、運用面での持続性を主な検証ポイントとして評価



※オンライン集合型
※自宅参加型

：参加者は教室へ集まり、TV/モニターを通じてオンライン上で介護予防の運動指導を受けるモデル
：参加者は自宅から専用タブレットを活用して、自宅でオンライン上で介護予防の運動指導を受けるモデル